

科目名: 心理学		科目コード	GB02	
科目主査: 末崎 裕康		担当講師: 阿部 廣二、井島 由佳、川島 忍、小久保 正昭、末崎 裕康	単位	4
			配当年次	1
授業の目的と概要	グループワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	カメラ・マイクの必要性: <input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 望ましい <input type="checkbox"/> 不要	
<p>心理学というのは非常に奥深い学問であると同時に、私たちの日常生活に密接に関係する学問でもあります。心理学を学べば、自分や他人の心の動きや行動傾向も理解できます。また自分の生かし方も分かり、人付き合いも楽になります。しかし、いざ学び始めても、細分化された各領域の研究成果がバラバラに示され、人間理解に結びつきません。本科目では、教養を深めるために心理学を体系的に学びます。人間に対する広くて深い理解を身につけることは、洞察力を磨き、意思決定力を磨くことにもつながります。</p>				
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:		
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキストを熟読していることを前提として授業を進めます。よく理解できないところがあったら、マーキングしておきましょう。なお事前学習をチェックするためのテスト(成績は評価しない)を実施します。			
テキスト	『今日から使える心理学』渋谷 昌三, ナツメ社, 2013年			
この科目の到達目標	<p>①心理学の基本的専門用語の意味を理解し、正確にその概念を説明できる。 ②心理学の理論構成を理解し、人間の行動や現象を心理学の枠組みを用いて考察できる。</p>			
成績評価の方法	1日目授業終了後の課題と、最終試験を評価対象とします。いずれもiNetCampusで実施します。			
事後学習	心理学は実生活に深く関わりのある実学であると同時に、客観性を重視する科学でもあります。心理学はカバーする領域も幅広いので、繰り返し基礎学習を復習しつつ、各自の興味のある領域、例えばカウンセリングや社会心理学など、焦点を絞り込んで学習しましょう。			
事後学習の参考文献	『心理学—こころと行動のメカニズムを探る』越智 啓太, 樹出版, 2012年 『仕事で使える心理学』榎本 博明, 日本経済新聞出版社, 2014年 『決定版 おもしろいほどよくわかる! 心理学』渋谷 昌三, 西東社, 2016年			
スクーリング受講時に用意するもの	<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具			